

漁況情報 No.18 平成 19 年 11 月 2 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

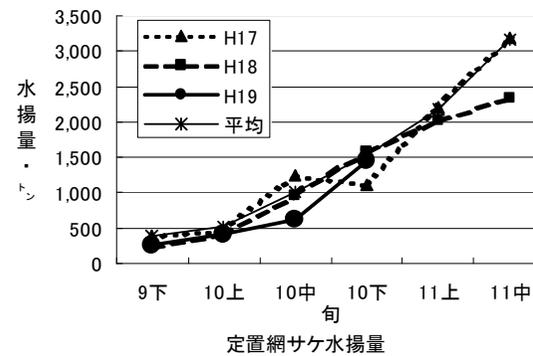
*本報は <http://www.pref.iwate.jp/hp5507/> に掲載しております。

<< トピックス >>

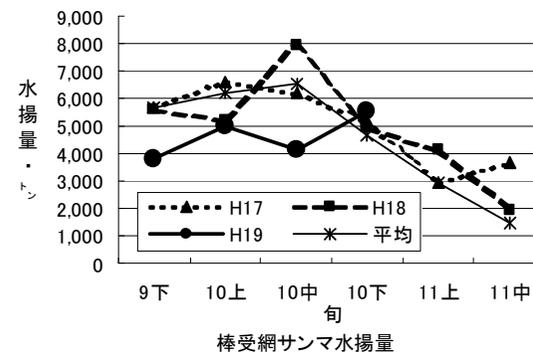
サケ(定置網)、サンマ(棒受網)の水揚げはほぼ前年並みです。
スルメイカ(イカ釣り)、サワラ(定置網)の水揚げは好調です。

1. 水揚げ状況

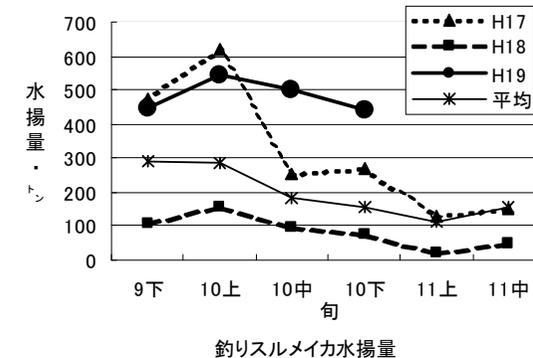
(1) サケ(定置網)は釜石、大船渡を中心に水揚げがあり、10月下旬の水揚げ量は1,449トン(前年同期並)でした。また、10月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は1,521トンで、旬水揚げはそれと同程度でした。年累計は2,932トン(前年同期の85%)です。



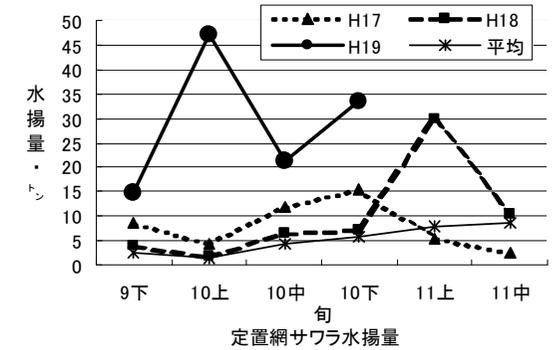
(2) サンマ(棒受網)は宮古、大船渡を中心に水揚げがあり、10月下旬の水揚げ量は5,513トン(前年同期並)でした。また、10月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は4,686トンで、旬水揚げはそれと同程度でした。年累計は29,608トン(前年同期の84%)です。



(3) スルメイカ(イカ釣り)は久慈を中心に水揚げがあり、10月下旬の水揚げ量は441トン(前年同期の5.7倍)でした。また、10月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は154トンで、旬水揚げはその2.9倍でした。年累計は6,581トン(前年同期の6.4倍)です。



(4) サワラ(定置網)は久慈、宮古を中心に水揚げがあり、10月下旬の水揚げ量は33.4トン(前年同期の4.5倍)でした。また、10月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は5.8トンで、旬水揚げはその5.7倍でした。年累計は446トン(前年同期の4.5倍)です。



*水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計による。

2. 調査結果、その他の情報

◎ブリ精密測定結果

10月下旬に水揚げされたブリ(釜石魚市場、定置網)の精密測定を行いました。ブリは大きさによって呼称が変わります。10月下旬に漁獲されたのは「ショッコ」銘柄で、34~37cm主体でした。8月上旬、9月上旬の同銘柄と比べると約4~7cm程度大型になっていました。(図)。

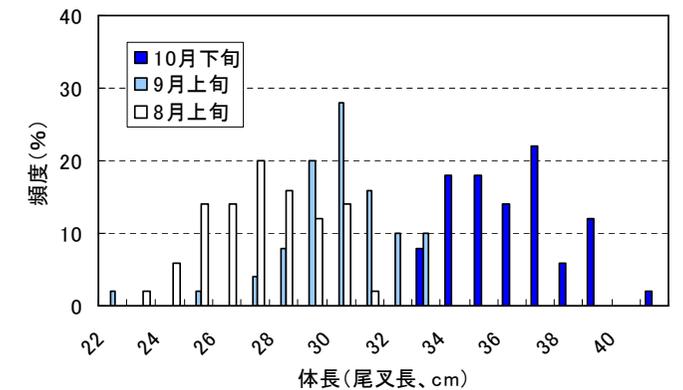


図 ブリ(ショッコ)体長組成

3. 調査船運航計画(11月)

	調査内容	調査期間
岩手丸	沿岸定線海洋観測調査	11/1~2
	サンマ漁場調査および大型クラゲ調査	11/5~9
	底曳網調査	11/12~30
北上丸	タコかご調査	11/1~2、/29~30
	仔稚魚・動物プランクトン調査	11/5~6、/21~22
	および沿岸域観測調査	
	サケ延縄調査	11/7~9、/13、/15~20、/26~30
	カニかご調査	11/12、/14

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。